



高齢者の多様な住まい



「とくよう」って、費用が安く待機者が多いと聞けけれど、どんな人が入れるの？

有料老人ホームはホテルのようだけど、一時金や月額が高いと聞いているわ。

家事も大変になってくるし、一人暮らしの防犯や緊急時は不安ね。

高齢者が入れる施設ってどんなものが有るのかしら？



施設を選ぶ時、どんな事に気を付ければいいのかしら？

☆ 元気な時から利用できて、介護が必要になったらケアを受けながら過ごす事ができる住まい。

有料老人ホーム (民間施設)	健康型	食事、生活支援サービス、原則介護はなし。
	住宅型	食事、生活支援サービス、介護は外部サービス
	介護付	食事、生活支援サービス、介護はその有料老人ホームが提供する介護サービスを利用する。
高齢者向け賃貸住宅(※) (民間施設) (シルバーハウジングは 公的施設)	高齢者向け有料賃貸住宅	バリアフリー。県知事認定、所得に応じて補助あり。
	高齢者専用賃貸住宅	高齢者対象の賃貸住宅(高専賃)
	適合高齢者賃貸住宅	高専賃のうち居室 25 m ² 以上で食事サービス有り。
	シルバーハウジング	バリアフリーの公的賃貸住宅。外部の介護サービス
老人福祉施設 (公的施設)	軽費老人ホーム	低額料金で入所。日常生活に必要な便宜を受ける。
	(A型)	家族との同居が困難な方。所得制限あり。
	(B型)	自宅での生活が困難な方。食事は自炊。
	(ケアハウス)	身体機能が低下し、家族の援助が受けられない方。
	養護老人ホーム	自宅において養護を受けられない 65 歳以上の方。

☆ 原則として要介護1(介護認定区分)以上の方を対象としている施設

介護保険施設 (公的施設)	指定介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム・特養)	常に介護が必要な人が、入浴・食事・排泄等の介護や世話を受ける。介護度や所得により費用が変わる。
	介護老人保健施設(老健)	リハビリを中心として自宅での生活の復帰を目指す。
	指定介護療養型医療施設	急性期医療を行う病院での治療が一段落したが、もう少し療養が必要な方が入所。手厚い医療。
認知症高齢者グループホーム		認知症の高齢者が5～9人を1ユニットとし家庭的な環境で共同生活を送りながら介護を受ける。

※ 高齢者向け賃貸住宅として、昨年10月、新たに『サービス付き高齢者住宅』(サ高住)が創設されました。これに伴い高齢者専用賃貸住宅・高齢者円滑入居賃貸住宅・高齢者向け有料賃貸住宅の3つの制度が廃止されました。既存の施設は名称が残っている場合もあります。

* 来月号では施設の選び方・費用・見学体験談などを掲載します。ご意見・質問をお寄せください。